



答弁中の平松町長

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。

一／般／質／問

ここが聞きたい！

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。



世利 孝志 議員

まちづくり

「稼ぐ力」に関する施策とその実施計画は

イノベーションセンターSUENOB Aの運営は



白水 勝元 議員

問

町の魅力や稼ぐ力といった新たな付加価値創出のため、オープンイノベーション戦略事業のもと、拠点となるスエノバが昨年9月に完成しました。このスエノバの事業形態として「企業支援サービス」と「町独自の稼ぐ力の拠点」の2つから成るとのことです。

11月の開所式から半年ほど経過しましたが、事業の進捗状況はどうでしょうか。メイソンの事業が軌道に乗るためには、早くても5年ぐらいかかるとのことですが、町の財政はその余裕がありますか。当町もスエノバと並行して、サテライトオフィス誘致などの事業を進めることが必要と考えますが、いかがでしょうか。

問

町内企業の育成と稼ぐ力を創出する目的で、須恵町が100%出資の株式会社SUENOB Aが昨年11月に開設されて半年が経過しました。当所で新たな事業、技術開発を取り入れることにより、その事業で得た収益を財源に充てるねらいがあると考えます。そこで、SUENOB Aの現状についてお伺いします。

広報や営業活動を地道に行う

(一括答弁)

答 平松町長

本町の経済構造はものづくり、そして小規模ではあるが物流拠点としての機能を有しており、多くの企業が町内で仕事をされています。大半は中小企業で、技術者の高齢化ならびに労働力不足が深刻な問題となっています。SUENOB Aは2つの企業支援型事業です。

- ①町内企業を様々な面で支援すること、町内の経済活性化を図ります。
- ②町外企業に対しシェアオフィスなど福岡都市圏での拠点を提供し、ビジネスチャンスを広げてもらいます。

サテライトオフィスについては、先進事例を見ても、山村・漁村、特に風光明媚なへき地と言われるような自治体とIT企業などがそれぞれの強み・弱みを補完し、お互いが問題解決の一助となる時に実施されているようです。

この事業は魅力的ではありますが、福岡都市圏にある須恵町は企業が求める自然環境の優位性や精神的ケアに繋がらないような環境にあるのでしょうか。これは我々の判断ではなく、企業側から申し入れがあれば可能な限り実現できるように努力していきたいと思えます。

答 平山まちづくり課長

現在、事業協同組合設立認可申請書を提出し、事業の発展に向けて着実に足場を固めている状況です。今後、サービス拡大と会員確保に努め、共同購買事業の拡大、外国人技能実習生の受け入れ等の事業を進めていきます。

サテライトオフィス

企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。



SUENOBA ホームページ

